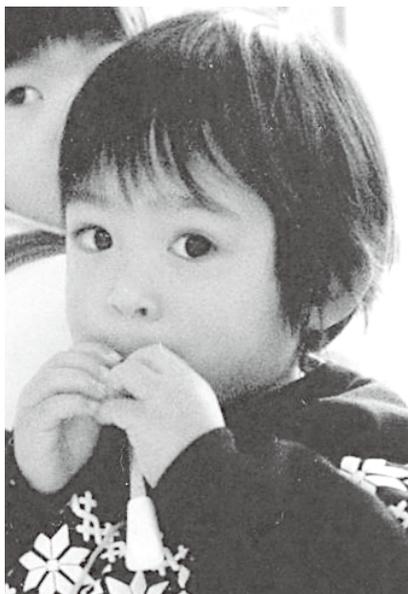


# 漁業の未来を考える

県民のつどい

「海の恵み」を届ける人々を  
応援しませんか？  
水産業に関わる人も、魚を食べる人も、  
水産のまち・石巻に集まりましょう！



船の入手、施設等の再整備、債務の凍結など、国と県に支援を求めている水産業に関わるすべての人々の願いを応援しましょう。水産業の復旧・復興こそ、宮城県再生の要です。

村井知事の「特区」は  
漁場独占の悪だくみ

村井知事の「水産業特区」構想は、日本経団連のシンクタンクが四年前に言い始めたものです。狙いは一部大企業による、定置網や養殖に向けた良い漁場の独り占めです。

村井知事は、「(公社)複数社と話し合っている(日経、6月11日)と。

漁業権は、県民の財産  
環境や資源を守る役割

漁業権は行政も関与している県民の財産で、漁業には今でも企業が参入しています。

漁協が管理しているのは、海的环境保全、休漁や禁漁による資源管理、海面利用や操業の調整、狭い沿岸で多様な魚介類を生産するために、一括管理が日本では必要だからです。

◇ 7月3日(日) 13時30分開会

◇ 石巻・専修大学 5号館 (3階 5301教室)

問題提起 網島不二雄氏 (元山形大学教授)

報告 木村 稔氏 (宮城県漁業協同組合会長)

市場・流通業、水産加工業、消費者の方からの発言を予定しています。  
会場の参加者も発言できます。入場は無料です。

※お願い 専修大学はボランティアの拠点で、駐車場のスペースが不十分です。  
高速バス、車の乗り合いでご参加ください。

<臨時バス> 仙台駅東口(代々木ゼミ付近)を11時30分に出発します。往復で千円です。  
申し込みをあらかじめ事務局まで電話・FAXでお寄せ下さい。

昼食をご持参ください。

主催＝東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター

「被災者が主人公の復旧・復興」を求める住民運動で、5月29日に400人で正式発足。弁護士、医師、研究者、一級建築士などの個人、各地の被災者の会、福祉・医療・教育・環境・農民等の市民運動が参加しています。

ブログ=<http://blog.canpan.info/miyagikenmin/>

【事務所】 仙台市青葉区大町2丁目5-10-305

電話 022(399)6907(平日の10時～17時) FAXは022(215)1510まで

